

岩手県災害備蓄指針に基づく県及び市町村の
災害対策用物資の備蓄状況（令和7年12月末時点）について

1 概要

被災者の命と生活環境に不可欠な物資として国が定める「基本8品目」及び飲料水の令和7年12月末時点の備蓄状況は次の表のとおりとなっており、全ての品目について、岩手県災害備蓄指針に基づく県・市町村の備蓄必要量を上回っています。

2 備蓄状況

品目（単位）	県備蓄量	市町村備蓄量	備蓄量合計	備蓄必要量	充足度（%）
飲料水（リットル）	86,412	198,439	284,851	214,632	132.7
食料（食）	25,204	372,789	397,993	321,948	123.6
毛布（枚）	780	133,181	133,961	71,544	187.1
トイレ（回分）（上段：携帯トイレ・下段：仮設トイレ等）	138,000 35,400	315,110 218,700	453,110 254,100	536,580	131.7
トイレトーパー（巻）	0	19,527	19,527	19,317	101.0
乳児用ミルク（上段：リットル・下段：グラム）	50.4 0	551.3 685,600	601.7 685,600	537 75,122	906.9
乳児・小児用おむつ（枚）	0	62,535	62,535	12,878	485.5
大人用おむつ（枚）	0	23,533	23,533	4,293	548.1
生理用品（枚）	0	116,124	116,124	21,112	550.0

※仮設トイレ等の処理能力を1日当たり100回分と想定

3 備蓄必要量の考え方（参考）

東日本大震災津波の際の最大避難者数及び県民意識調査の結果による県民の備蓄想定数量を勘案して、県・市町村による備蓄対象人数を35,772人分とし、国が示す算出式を用いて、3日分（飲料水は2分）を備蓄必要量としたものです。